

1 学期後半，まとめの時期が始まりました！

酷暑の長い夏休みも明け，3年生は8月23日からの登校となりました。どんな表情で登校してくるのかちょっとだけ不安でしたが，比較的明るく笑顔で，元気に登校している姿を見て，安心するとともに，生徒の一人一人の成長を感じずにはいられませんでした。本人たちなりに，受験生を意識しながら自分の目標に向かって努力した夏を過ごしたことが伝わってきました。

夏休み明け集会で行われた全校応援では，3学年の生徒が一生懸命に声を出している姿が印象的でした。後輩たちが憧れる学年にどんどん近づいている感じです。素敵です。

さて，1学期まとめの時期に入り，受験勉強にも本腰が入ってくるかと思われませんが，困難に立ち向かっているのは自分だけではなく，みんなも同じ気持ちであることを忘れずに，みんなで支えあって生活できたらと考えております。勉強も行事も，すべて本気で頑張る3学年であってほしいと思います。

夏休み明けの集会で学年代表として，3年3組の
お読みください。

さんが作文を発表しました。

「責任は敵か味方か？」

私は3年生になってから「責任」について考え方が変わりました。

今までの私は「責任」という言葉がとても嫌いでした。責任という言葉が辞書で引くと「これから起きるであろうこと，あるいは起きたことの原因が行為者にある場合，その行為の結果に対し，対処する義務のこと。」とあります。当時私は「この責任というものは，私の自由を奪う嫌なもの」と考えていたのでした。ですが，今はむしろ良いものとして捉えています。

私がそう思うようになったきっかけは，合唱コンクール実行委員の経験からです。実行委員はいくつかの部署に分かれており，それぞれに役割があります。どれも欠けてしまえばコンクールが成り立たなくなってしまう「責任」が伴うものです。私はお便りを発行する広報担当でした。指示された内容をお便りにするだけのものだと軽く考えていました。しかし，いざ準備が始まってみると，実行委員としての仕事だけではなく，クラスの練習や声かけなど，やらなければならないことがたくさんあり，広報の仕事でさえ，おろそかになりました。自分に与えられた「責任」に押しつぶされそうになった時に，ふと周りを見渡してみると，当たり前ですが，いろいろな状況の人がいました。自分のクラスの歌を成功させようと頑張っている人，実行委員だけでなく，指揮や放課後には部活を頑張る人，各々が自分の持つ力を尽くす姿が私にはとても新鮮でした。お互いがお互いを信頼して，自分の役割を理解し全うする。他の人もその人自身の役割を全うする。そんな集団の中で得た信頼が責任となり，自分が頑張る原動力となる。集団で何かを達成するために必要なことは正にそういうことなのだと気づくことができました。

私は，これから受験を達成させるという目標があります。今回気づいたこの「責任」の原動力を利用し，頑張っていきたいと思います。

皆さんもぜひ「責任」を味方に付けて，1学期のまとめを頑張ってみてはどうでしょうか。

ファイナンスパークのボランティア，お願いします。



夏休み前から，保護者の皆様をお願いしております，ファイナンスパークでのボランティアの件です。19名のボランティアが必要のところ，まだ6名しか集まっておりません。9月中旬には確定しなければなりません。再度，予定をご検討していただき，お子様や田子中生徒の様子を見られる機会にご協力いただきますよう，よろしくお願いいたします。

ご協力いただける場合は，別紙申込書へ記入し，担任へ提出をお願いします

★学年だよりに掲載されている個人データは、仙台市個人情報保護条例によって保護されている対象です。むやみに第三者に提供・複写したり、不当な目的に利用したりすることのないようにお願いします。また、破棄する場合には、適切、確実にを行うよう重ねてお願いいたします。